

第3回 日進市障害者基本計画等策定・評価委員会 議事録

日 時 平成 25 年 3 月 28 日 (木) 午後 2 時～午後 3 時 20 分
場 所 日進市中央福祉センター 2階集会室

出席者 <委員> 川井直博 (委員長)、石垣 儀郎 (副委員長)、佐野龍司、
谷口節子、松永敏子、河合美夕紀、宮田恒治、成田ゆき江、
小野田笑子、桜井政信、鈴木 重行
<事務局> 福祉部：山中次長 (課長)
福祉課：水野主幹、加藤課長補佐、小出係長、小塚主査

欠席者

傍聴の可否 可
傍聴の有無 無

次第 1 あいさつ
2 議事
(1) アンケート調査について
(2) 後期計画策定スケジュール等について
3 その他

事務局 平成24年度第3回日進市障害者基本計等策定・評価委員会を開催します。

本日は、全員出席ですので、過半数以上の出席により、本委員会の設置要綱第6条第2項において本日の委員会は成立いたします。

それでは始めに、川井委員長より ご挨拶をお願いします。

委員長 あいさつ

事務局 ありがとうございます。

議事に入る前に、本日の会議資料の確認をお願いします。事前に配布しました資料ですが、お持ちでしょうか。本日の資料は、事前に送付しました資料が、「次第」「委員名簿」「資料1」「資料2」と「その他資料1」「その他資料2」、そのた啓発用チラシになります。

資料の確認はよろしいでしょうか。足りない委員の方がございましたら、声をかけていただければと思います。それでは、これからの議事の進行につきましては、川井委員長にお願いいたします。

委員長 委員長の川井です。これからの議事の進行について皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

議事に入る前に本日の傍聴者はございますか。

(傍聴者なし)

委員長 それでは、議事に入ります。

議事「(1) アンケート調査について」、事務局から説明をお願いします。

事務局 資料説明

委員長 事務局から説明がありましたが、ご覧いただいて意見等をいただきたいと思います。

委員 ひとつ教えてほしいのですが、障害者が高齢化しているという説明でしたが、子どもから大人まで、発達障害や内部障害については、発達障害をもったまま高齢化している問題もある。そうした方も設問か何かで把握できるようになっているのか教えていただきたい。

事務局 障害者手帳をもっている人が対象です。大人の発達障害については、前期計画の時には大きな課題とならなかったのですが、後期計画には課題

として考えていきたい。

委員 問16で、障害者相談支援センターの認知が50%程度。設立してから3年を考えると、少ないような気がする。今後、どう周知していくのか。

また、高齢化が進んで行くときに、センターへのコンタクトをもっていくのか。

事務局 アンケートの意見で、例えば、郵便を出すにも、ポストまで行けない。センターに相談といっても、センターに行けない。来てもらえるのかという意見もありますので、市としては、センターを中心にしていきたいので、後期計画にそうした課題を盛り込んでいきたい。

また、今回も視覚障害で独居の人には、アンケートの送付後に職員が出向いて聞き取りを行うなどの配慮もしているので、そうした取り組みは今後も行っていきたい。

委員長 回収が5割を下回った原因は何か。

事務局 行政の一般的なアンケートでは、平均的な数字ですが、対象を絞ったアンケートでは若干少ないと考えています。

アンケートの主旨が当初の障害者基本計画に掲げた内容の中で残っているものなど、計画の体系に合わせて障害全般に聞いているので、自分に関係のない部分もあったのではないかと考えている。

アンケートの中でも自分に関係のあるものだけに絞ってしてほしいかという意見もあったが、障害全般のことを聞きたいという趣旨もあったので、根気のいる内容になった面もあると思います。しかし、40数%の方が丁寧に答えいただいているので、いただいたものは貴重な意見として取り扱っていきたい。

委員長 アンケートの結果から、市の目玉になるようなものはありますか。

事務局 目玉を示せる状況ではないので、今後のスケジュールの中で精査していきたい。

委員長 短期入所や就労支援が若干数値高いように思うが、その辺が力を入れていっていただきたいと思います。

委員 障害児の早期支援への意見が多いように思います。早期療育が重要とっていますが、就学時の支援をしていると、保護者が認めず、普通学級に行かせたいということがよくあり、それ以上に支援ができないことがあります。

計画にはあって、推進したいと思っていますし、支援者側も支援を進めていきたいと思っているが、うまく機能していないように感じます。

- 事務局 自立支援協議会において教育委員会にも参加いただき、連携するように取り組んでいます。委員の言うとおりの障害児については早くからの支援が重要と考えています。
- 保健センターの検診時に、気になる子というだけなら、日進でも毎年300人を超える人数になります。そうした子をどう支援するのか体制、支援の流れのようなものを後期計画で考えていく予定です。
- 委員 早期に発見して、小さいときから手をかけてあげることをお勧めはするが、拒否する保護者もいる。その子の伸びる方向を支援してあげるような方向でいくことをアピールしてほしい。
- 事務局 いまはインクルージョンの理念から、受け入れる側も含め、お互いに学びあっていけるといいと思います。
- 委員 私の施設の状況からは、早く療育を受けさせたいという親も増えてきています。うちの施設だけですべて担うことはできないので、市の計画の中で方向性を示して行ってほしいと思います。
- 委員長 これまで障害の対象でなかった子の支援が増えてきています。今後、力を入れて行かなければいけないと思う。
- 委員 民生委員として、赤ちゃん訪問などをしていて、気になる子を気づくことがある。保健センターにも伝えていますが、民生委員の活動は高齢者中心の活動で、障害の方の研修も少ない。戸別訪問もしているので、もう少し勉強していきたい。
- 委員長 今後、そうした支援について施策の中で検討して行ってほしいと思います。
- 委員 発達障害の支援をしているのですが、親子で発達障害というケースもあり、親子で共感してしまうので、支援の必要性を感じず、就学していき、結果として不登校となるケースもあります。
- そのため、うちでも就学時期の通所を検討しています。地域の中で、乳幼児期をみる段階や、就学時期をみる段階など、年齢の段階に応じて連携できないかと考えています。
- 委員長 他によろしいですか。
- 委員 高齢になり、介護保険に移らなければならないという話があるが、そのまま継続して利用できることはできないのか。
- 事務局 制度的に介護保険が優先となっています。個々の事情によって、相談

の上、市が支給決定することになります。

委員 一般の介護事業所で、障害者が我慢して利用することがあると聞いている。

事務局 内容にもよるが、同じサービスであれば、介護保険が優先となります。突然、移ることに抵抗があるというも理解できますが、法的なものであるので、基本的には国の定めた運用に従うことになります。

委員 法に従って運用されているのだと思うが、施設側も障害のケアが不十分な面がある。介護施設と障害の施設と交流できる機会を設けるなど、支援できる環境も必要ではないでしょうか。

事務局 後期計画でそうした支援、人材育成の話になると思いますが、盛り込んでいきたいと思えます。

委員長 その他意見がないようであれば、次に議事「(2) 後期計画策定スケジュール等について」、事務局から説明をお願いします。

事務局 資料説明

委員長 ただいまご説明がありましたが、ご質問等がありますか。次回の6月は、メンバーが変わるのか。

事務局 6月までは、現在のメンバーで、7月から新たなメンバーとなります。

委員長 アンケート調査の内容について、全体を通して見ていただきましたが、よろしいでしょうか。
よろしいようですので、これで議題を終了します。その他について、事務局から報告等がありますか。

事務局 事務局からの報告事項
・「障害者総合支援法について」説明。
・「平成25年度当初予算及び事業計画について」説明。
・新年度の事務局体制の変更について
事務局からの連絡は以上です。次回の委員会の開催は、6月頃を予定していますので、よろしくをお願いします。

これで、第3回日進市障害者基本計画等策定・評価委員会を終了します。本日はありがとうございました。

(午後3時20分閉会)